



「ビジネスコネクトふじのみや」は、

これから事業者になろうと思っている方や、既に事業を始めている方のための総合相談窓口です。富士宮市・富士宮商工会議所・芝川商工会及び富士宮信用金庫の4者による産業振興に関する連携協定に基づき、それぞれの機関の窓口で実施しています。創業を考えている方のスタートアップの支援や、事業者が抱える様々な問題について、訪問や窓口相談、電子メール等多様な方法でサポートし、課題を吸い上げ、解決策の提案等を行っています。

ご利用の流れ

下記のいずれかにてご連絡ください。その際に簡単なご相談内容を伺います。
お問い合わせフォームよりお問い合わせいただいた方には、担当の職員から後日ご連絡いたします。

お電話

- 富士宮市 商工振興課/(0544)22-1295
- 富士宮信用金庫(お客様相談部)/(0544)27-3344
- 富士宮商工会議所/(0544)26-3101
- 芝川商工会/(0544)65-0273

お問い合わせ
フォーム



どなたでも無料で
お気軽にご相談
いただけます！

経営者向け

「事業承継なんでも個別相談会」を開催中！

事業承継の問題でお悩みの経営者の方、お気軽にご相談ください！

日 時 毎月第3金曜日 ①9時半～②10時半～③13時～④14時～
(1件1時間、全4枠)

場 所・お問い合わせ 富士宮商工会議所

完全予約制 ☎0544-26-3101 お電話にてお申し込みください

事業承継マッチングプラットフォーム

「リレイザローカル富士宮」をぜひご利用ください！

事業のバトンタッチを希望する地域の事業者と、全国からの後継候補者・起業者をつなぎ、継続的にサポートするプログラムです。

ご利用についての詳細を知りたい方、後継者募集の掲載をご希望の方は下記までお問い合わせください

お問い合わせ 富士宮市 商工振興課

☎0544-22-1295

WEBサイト▶



人事担当者向け

労働環境改善講座

「採用に効く広報術！」を開催します！

プレスリリースを活用した採用広報の戦略と実践法を解説します。会社のストーリーづくりから、メディアへの情報発信、実践的なノウハウをお届けします。

日 時 1月21日(水)13:00～16:00

場 所 大富士交流センター 会議室4

対象者 経営者・総務、人事担当者など

お問い合わせ 富士宮市商工振興課
☎0544-22-1154

要申込
参加費無料
定員20名
(先着順)



学生向け

「放課後カフェ #推しゴトさがし」

地元企業の若手社員と交流を深めてみませんか？富士宮市内の企業が13社参加！地元企業を知り、採用担当者と若手社員と直接話ができる貴重な機会！保護者参加OK、私服参加OKです。お菓子バイキングもあります♪

日 時 2月28日(土)15:00～17:00

場 所 駅前交流センターから

対象者 主に2027年3月以降に卒業予定の高校生を中心とした就職予定者(大学生・専門学生も大歓迎！)

お問い合わせ 富士宮市商工振興課
☎0544-22-1154



起業したい方

毎月第4火曜無料相談会を開催中！

創業をしたいけれどどちら始めたらいのか分からない等、創業に関するお悩み・ご相談がある方を対象に、経営指導員による相談会を毎月開催しています。お気軽にご相談ください。

日 時 毎月第4火曜日 10時～15時
(1件1時間、全4枠)

場 所 富士宮市役所 市民相談窓口(1階)

相談員は富士宮商工会議所職員か芝川商工会職員

予 約 制 ☎0544-22-1295



お電話もしくは
QRよりご予約ください。

ちょっとしたお仕事さがし

内職相談・あっせんも実施中

事業者様からの内職募集のご相談も受け付けています！

毎週月・木／市役所1階市民相談室



ビジネスコネ
活動予定は
こちら！



Check



各種SNSにて最新の支援情報や
セミナー開催情報等を発信中！
お気軽にフォローしてください！



起業・創業・経営などお仕事に関する総合相談窓口

ビジネスコネ

富士宮市

富士宮信用金庫

富士宮商工会議所

静岡県富士宮市 芝川商工会



「ビジネスコネクトふじのみや」は下記の相談や支援を無料で行います！

(通称：ビジネスコネ)

- 起業サポート
- 各種補助金
- 集客のアイデア
- 金融相談
- 人材育成
- 新商品開発
- 経営相談
- 販路開拓
- IT化
- 事業承継

content
1 ビジコネ利用者
4名のインタビュー

content
2 補助金や相談会
のご案内

VOL.9

ビジコネを利用した 富士宮で活躍する **4名**にインタビューしました！

CASE 01



富士宮のインフラと防災を支える

富士設計株式会社
(建設コンサルタント)

小野寺 敦嗣さん



—富士設計はどんな会社ですか？

当社は昭和37年創業で、富士宮を拠点に地域に根ざした建設コンサルタント業を展開しています。設計というと建築をイメージされるかもしれません、当社の主業務は土木分野、つまりインフラ整備の設計や調査、測量です。道路や橋、川、公園といった公共施設に関わる計画から設計、その基礎となる調査や測量までを手がけています。

私たちはこれを「まちづくり」と呼んで、単に図面を描くだけではなく、地域の安全と暮らしやすさを支えるため、決して派手ではありませんが、「この街に住む人が、より安全で快適に暮らせるように」という強い思いを持ち、日々まちづくりに取り組んでいます。

—ビジコネの支援について

今回、ビジコネでは展示会出展にあたり補助金の申請やビジネスマッチングの過程でアドバイスをいただきました。実際に、自社単独では実現が難しかった大規模な公共業務も、他企業との連携によって受注に至ったという経験は、この取り組みの意義を強く実感させるものでした。展示会ではドローンや3D

計測技術に興味を持った学生さんもいて、将来的にも良い効果がありました。

—これから富士設計について

私自身はこの会社の四代目にあたります。創業者は祖父で、父が二代目でしたが、私が入社して1年半ほどで急逝てしまい、現会長のえもあり、私が事業を継承することになりました。もともと外国語大学を出ており、入社当時は土木に関する知識は全くありませんでしたが、地域のために働くという意義や、社会に必要とされるインフラづくりの重要性を日々感じる中で、自分なりの覚悟が芽生えてきました。社員が安心して働ける環境づくりの取組みも進め、離職率も減ってきたと実感しています。まだまだ道半ばですが、「この街になくてはならない会社」であり続けられるよう、社員とともに一歩づつ歩んでいきたいと思います。

富士設計株式会社

〒418-0022 富士宮市小泉 468-1
☎ 0544-26-5191



Web サイト

お茶づくりと販売の新たな形をつくる

株式会社富士園
(製茶業)

石川 善大さん



—富士園について教えてください

祖父の代から茶業に携わっているのですが、当初は「生産農家」としてお茶づくりをしていました。その後、自社工場を建てて製造まで行うようになり、私が物心ついた頃にはスーパーへの卸や軒先での直売へと移行していました。当時、社長は「市場出荷では価格競争になってしまう」と感じていたそうで、特に静岡県西部の産地と比べて出荷が遅れるほど価格が下がるため、早い段階で市場出荷をやめ、直売に力を入れるようになりました。

—富士園の特徴

店舗を構えることで消費者と直接繋がることができ、声を聞きながらお茶づくりに生かせるのは大きな強みです。静岡茶への価値観や地域ごとのお茶文化の違いを直接伺うことで、商品構成を考える視点が広がりました。

カフェスペースでは富士山を眺めながら食事やお茶を楽しめるロケーションが好評です。周辺にはカフェが少ないこともあり、国内外問わず「静岡茶」という言葉に惹かれて訪れる方も少なくありません。

—ビジコネを通した商標取得について

これまでの課題で、当社の商品パッケージは既成の袋を使っていたので、デザインの統一感がありませんでした。お客様に長く覚えてもらえるブランドをつくるために、まず自社の顔となるロゴマークを定めることが大切だと感じ、商標登録の取得も含めて今回ビジコネに相談しました。登録にあたり最も苦労したのは「富士園」という名称です。既に同名の商標を登録しているお茶屋さんが県外にあり、さらには当社のロゴの下に入っていた「FUJIEN」の表記も認められませんでした。最終的には商標の取得もできたのですが、専門の方や市職員の方々にノウハウを教えていただきとても助かりました。

今後は「富士園」という名前とロゴマークと共に製造・販売まで一貫して行うメーカーとして、お客様の声を大切にしながら、嗜好品としてのお茶づくりを磨き続けてまいります。

株式会社 富士園

〒418-0101 富士宮市根原449-17
☎ 0544-52-0988



Instagram



Web サイト

“ビジネスコネクトふじのみや”は、これまでに市内で活躍する多くの企業・創業者・事業者の方の支援、サポートを行ってきました。ここでは実績例としてご利用いただいた4社をご紹介します！

CASE 03



変わり、守る、伝統の酒造り

富士正酒造株式会社
(酒造業)

澤田 由佳さん



—富士正酒造について教えてください

富士正酒造は1866年、慶應2年に創業した江戸の末期から続いている酒蔵です。元々は上野の土地にありましたでしたが、2012年4月に「あさぎりフードパーク」に移転オープンしました。

お酒へのこだわりとしては、ただがむしゃらに誰が飲んでも美味しいお酒というよりは、日々の晩酌の中でほっと一息つけるようなお酒を造りたいということを目標にしてきました。自然に日常に溶け込んでいるような、暮らしに寄り添った形の日本酒を目指しています。最近は「若者のお酒離れ」とか言われていたり、お酒の趣向も時代で変化しているので、現代の人たちの飲みやすさを改めて考えたり、というのは時代に合わせてやっていかなくちゃいけませんね。歴史のある酒蔵には昔からずっと守り続けてきた伝統がありますが、その中でも変化をさせていかなければと思います。

—ビジコネの支援について

補助金申請と販路開拓の支援をしていただきました。小規模事業者持続化補助金と経営力向上補助金、経営革新もお願いしました。今は業務改善助成金も申請しているところです。販路開拓は、日本酒や

リキュールの販路の開拓として、商談会の設置と専門家派遣のお願いもしています。やりたいことがあるけどどんな補助金が使えるかというのを、自分で一から調べるのはすごく大変ですが、使える補助金や、資金調達の方法など、色々と教えていただけるので、まず相談に行ったら良いと思います。相談員さんたちは皆さんプロですから、とにかく夢を語ればあとは船に乗れるというような感覚です。

—今後の富士正酒造について

私の中で「200年続く会社に」というのを一つの目標にしています。今が創業160年くらいなので、あと40年をいかにスピード感を持って、この時代に即した形で日本酒蔵として残っていけるかということを考えています。今いる従業員もあと40年なら皆さんまだ健在かなというのもあって、今のメンバーが自分が働いていた場所を誇りに思えるような会社にしたいですね。

富士正酒造株式会社

〒418-0101 富士宮市根原 450-1
☎ 0544-52-0313



Instagram

Web サイト

CASE 02



お茶づくりと販売の新たな形をつくる

株式会社富士園
(製茶業)

石川 善大さん



—富士園について教えてください

祖父の代から茶業に携わっているのですが、当初は「生産農家」としてお茶づくりをしていました。その後、自社工場を建てて製造まで行うようになり、私が物心ついた頃にはスーパーへの卸や軒先での直売へと移行していました。当時、社長は「市場出荷では価格競争になってしまう」と感じていたそうで、特に静岡県西部の産地と比べて出荷が遅れるほど価格が下がるため、早い段階で市場出荷をやめ、直売に力を入れるようになりました。

—富士園の特徴

店舗を構えることで消費者と直接繋がることができ、声を聞きながらお茶づくりに生かせるのは大きな強みです。静岡茶への価値観や地域ごとのお茶文化の違いを直接伺うことで、商品構成を考える視点が広がりました。

—ビジコネを通した商標取得について

これまでの課題で、当社の商品パッケージは既成の袋を使っていたので、デザインの統一感がありませんでした。お客様に長く覚えてもらえるブランドをつくるために、まず自社の顔となるロゴマークを定めることが大切だと感じ、商標登録の取得も含めて今回ビジコネに相談しました。登録にあたり最も苦労したのは「富士園」という名称です。既に同名の商標を登録しているお茶屋さんが県外にあり、さらには当社のロゴの下に入っていた「FUJIEN」の表記も認められませんでした。最終的には商標の取得もできたのですが、専門の方や市職員の方々にノウハウを教えていただきとても助かりました。

今後は「富士園」という名前とロゴマークと共に製造・販売まで一貫して行うメーカーとして、お客様の声を大切にしながら、嗜好品としてのお茶づくりを磨き続けてまいります。

株式会社 富士園

〒418-0101 富士宮市根原449-17
☎ 0544-52-0988



Instagram



Web サイト

CASE 04



有限会社かくたに
(製造・卸業)

望月 大輔さん



芋をもって芋を制す、100年企業

有限会社かくたには昭和3年創業の会社で今年97年目。もうすぐ100周年を迎えます。あさぎりフードパークが2012年にオープンしたタイミングで工場を建てて、新たにサツマイモの加工を始めました。今は干し芋や芋けんぴの製造・販売を行なっていますが、それまでは富士山グッズを扱う卸売業の会社だったんです。あさぎりフードパークへの事業参入を考えたときに、建てられるのは食品工場のみという制約があり自社製造・自社販売の今の形が出来上がりました。

—かくたにについて教えてください

有限会社かくたには昭和3年創業の会社で今年97年目。もうすぐ100周年を迎えます。あさぎりフードパークが2012年にオープンしたタイミングで工場を建てて、新たにサツマイモの加工を始めました。

今は干し芋や芋けんぴの製造・販売を行なっていますが、それまでは富士山グッズを扱う卸売業の会社だったんです。あさぎりフードパークへの事業参入を考えたときに、建てられるのは食品工場のみという制約があり自社製造・自社販売の今の形が出来上がりました。

—小規模だからこそ強み

まず、使っているサツマイモは基本的には地元の契約農家さんのものです。特に芋けんぴはカリッと揚がるように硬めの「紅あずま」を専用に作ってもらっています。

また、芋けんぴの製造体験ができるのもうちの特徴です。おそらく日本でいちだけだと思います。皮むきから始めて、袋詰めするまで大体1時間半ぐらいですね。ファミリー層が多いですし、どなたでも安心して参加できますよ。

—今後のかくたにについて

最終目標は『桃鉄』の富士宮駅に芋けんぴ屋さんを作ってもらうことです(笑)。富士宮のサツマイモをもっとPRして「富士宮と言ったら芋けんぴだよね」というぐらいの認知度まで持っていくたらと思います。そしてまずは100周年へ向けて頑張っていきたいです。

有限会社かくたに

〒418-0101 富士宮市根原449-19
☎ 0544-52-0102



Instagram

Web サイト